

第5学年 道徳指導案

日時 平成23年9月30日(金) 5校時
児童 男子15名 女子10名 計25名
指導者 山本 薫

1 主題名 目標に向かって [1-(2) 希望・努力]

2 資料名 キャプテン (文溪堂 5年生の道徳)

3 主題について

(1) 価値について

学習指導要領第1章道徳の第5学年及び第6学年の内容1「主として自分自身に関すること」の(2)に「より高い目標を立て、希望と勇気をもってくじけないで努力する」とある。これは、中学年の「自分でやろうと決めたことは、粘り強くやり遂げる。」を受けたものであり、中学校の「より高い目標を目指し、希望と勇気をもって着実にやり抜く強い意志をもつ。」と深くかかわっている。よりよく生きようとするために自己目標に向かって努力し、自分を高めていこうとする心情を育てる内容項目である。

この時期の児童は、物事を客観的に見つめ、自分と他人とを比べてよい点、悪い点を冷静に判断できるようになる。そして将来を見据え、自分がやりたいことやなすべきことなどを具体的に考えて目標を立てられるようになる。しかし、困難なことに会うと、「面倒だ。」「できない。」などと言ってつらいことから逃げたり誰かに助けてもらおうとしたりして、すぐにあきらめてしまうことも少なくない。目標を実現するためには、数々の障害や困難を乗り越えていける忍耐強さが必要である。希望をもって努力することや粘り強くやり遂げることのよさを感じていける心を育てていきたい。

(2) 児童について

学級の児童は、明るく活発であり、やる気をもって物事に取り組んでいる。高学年となった今年は、「チャレンジ」を学年テーマとして掲げ、自分から進んで委員会活動や自然教室などの行事に取り組んできた。

また、多くの児童は、学習や行事などで目標を立てたり、野球やミニバスなどのスポーツ少年団に所属して大会に向けて練習を積み重ねたりしている。希望・勇気・努力を扱った第1時では、目標に向けて努力していくことの大切さに気付くことができた。しかし、目標に向けて努力する姿勢には個人差が大きく、つらくなるとすぐあきらめてしまう子や自分の気の向くままに行動し楽な方に流れてしまう子もいる。

このような実態から、目標の実現のためには、困難なことに会っても、くじけずに、希望をもって粘り強くやり遂げることが大切であるということを感じ取らせていきたい。

(3) 資料について

本資料は、転校して野球部に入部した「谷口君」が、名選手と誤解されてしまうことから始まる。みんなの期待に応えようとして父と共に厳しい練習に励むが、なかなか思うように上達しない。そして、3月に新オーダーを発表するとき、4番でサード、新キャプテンに「谷口君」と告げられる。本当のことを打ち明けて断ろうとするが、みんなから認められてキャプテンを引き受けるという話である。

漫画を題材にしている資料のため児童に親しみやすく、内容もとらえやすい。目標に向かって努力する大切さと難しさを知り、やり遂げたときの喜びに気付かせることができる資料である。

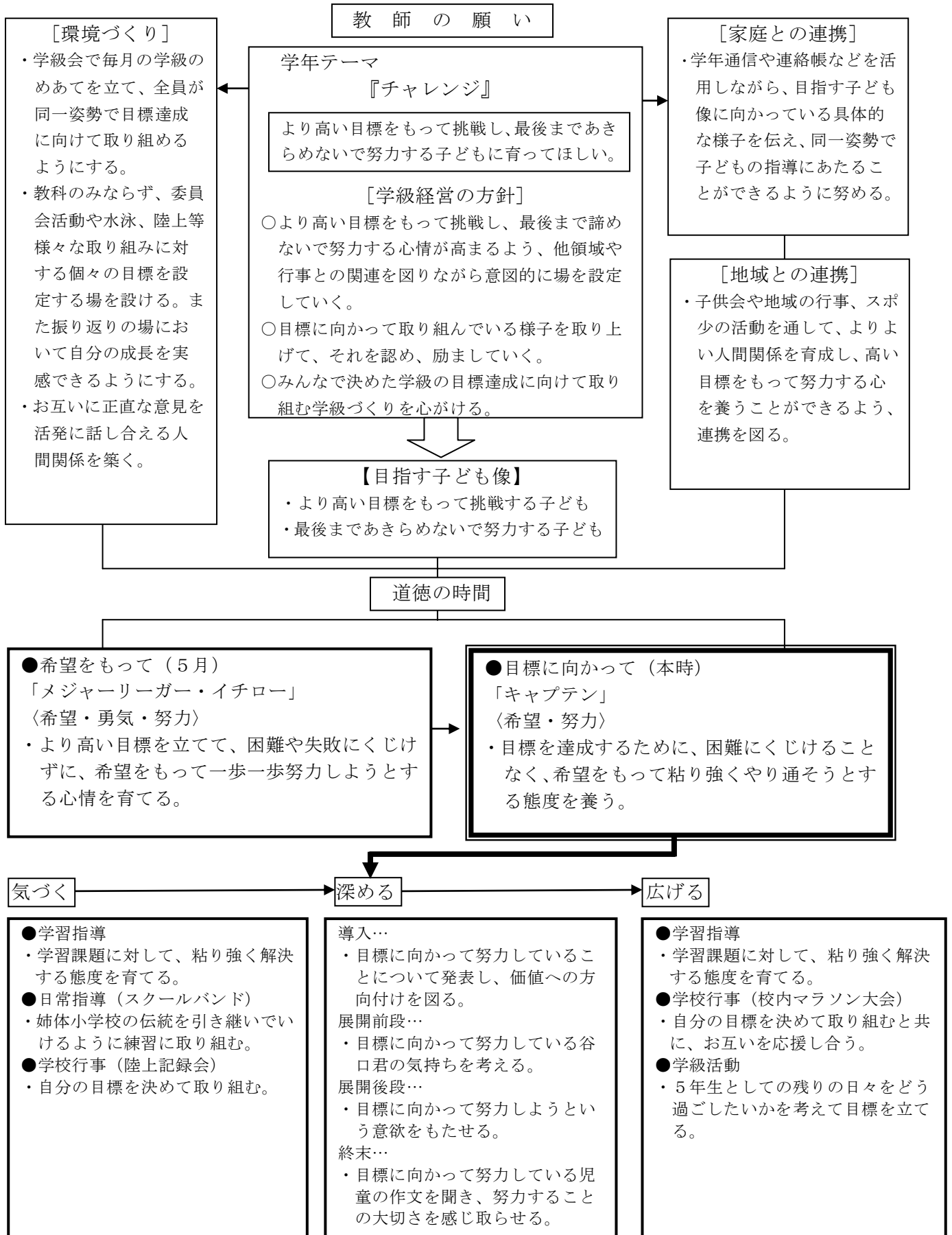
(4) 指導について

本時の授業では、みんなの期待に応えられるように、粘り強く努力する谷口君の様子や思いに着目させ、ねらいにかかわる価値について考えていけるよう、次の手立てを講じていく。

- ・導入では、これまで努力してきたことを発表させることで、ねらいとする価値への方向付けを図りたい。展開後段では、目標を達成するためくじけないでがんばったことやその時の思いについて考えさせたい。
- ・書く活動を取り入れ、谷口君がキャプテンを引き受けてくれるよう、みんなから言われたときの思いについて考えさせたい。
- ・書く活動の後にペア学習を取り入れることで、児童全員に自分の思いや考えを表現する機会を与える。また、お互いの考えを交流することで、自分の考えを確かなものにすると同時に、友だちの考えのよさにも気付かせたい。
- ・終末では、児童の作文を聞くことで同じクラスの友達もがんばっていることに気付かせ、意欲を高めていきたい。

4 指導の構想

「より高い目標を立て、希望と勇気をもってくじけないで努力する心」を育てる学級における指導の構想



5 本時の指導

(1) ねらい

目標を達成するために、困難にくじけることなく、希望をもって粘り強くやり通そうとする態度を養う。

(2) 展開の概要

階	学習内容と主な発問	予想される児童の反応	指導上の留意点
導入 5分	1 目標に向かって努力してきたことを発表する。 ○今までみんなが、目標に向けてがんばってきたことはどんなことですか。	<ul style="list-style-type: none"> ・スクールバンドの練習をがんばってきた。 ・陸上記録会でなわとびの練習をがんばった。 ・マラソン大会に向けて、がんばってきた。 ・はじめはがんばっていたけど遊びたくてサボることもあった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・努力してきたことや逆にうまくいかなかったことを出させ、価値への方向付けを図りたい。
展開 前段 25分	2 「キャプテン」を読んで内容を確認する。 ○谷口君の気持ちを考えながら聞きましょう。 3 主人公の気持ちについて考える。 ○自分のことがうわさになってしまった谷口君は、どんな気持ちだっただろう。 ○お父さんと秘密の特訓をしているとき谷口君はどんな気持ちだっただろう。 ○本当のことを打ち明けようとした谷口君がキャプテンのノックに食らいついていったのはどうしてだろう。 ◎キャプテンを引き受けてくれるようみんなから言われた谷口君は、どんな気持ちになっただろう。	<ul style="list-style-type: none"> ・こまった。 ・自分は補欠だったのに。 ・どうしよう。 ・のびのびやりたいただけなのに。 ・本当のことを言ったらどうなるだろう。 ・がんばるぞ。 ・なかなかうまくならない。 ・大丈夫かな。 ・つらい。 ・もうだめだ。 ・体が動いてしまう。 ・なかなかとれない。 ・負けるもんか。 ・うまくなりたい。 ・野球をやめたくない。 ・希望をすてずに、がんばってよかった。 ・くじけないで続けてきてよかった。 ・もっとうまくなりたい。 ・みんなの期待にこたえたい。 ・新たな目標に向けてがんばろう。 	<ul style="list-style-type: none"> ・事前に資料を読ませておき、挿絵を掲示しながら場面を想起させる。 ・主人公の悩んでいる気持ちに共感させたい。 ・主人公が、くじけずにがんばる気持ちと、なかなかうまくならない気持ちの両方の気持ちに十分共感させる。 ・書く活動を取り入れ、自分の考えを深めさせ価値の内面化を図る。 ・ペア学習を取り入れ、自分の考えを友だちに伝え合うことで、お互いの考えのよさに気付かせる。

展開 後段	4 自分の生活をふり返り、希望や努力について話し合う。 ○谷口君のように、くじけそうになったけど、やり通せたことがありますか。	<ul style="list-style-type: none"> ・陸上の長距離でなかなか記録が伸びず、練習をやめてしまいたいと思ったけど、4分をきることが目標だったのでがんばり続けた。 ・サッカーでうまくドリブルできなくてボールを取られたりしていたけど、練習を続けたらうまくなった。 ・素振りの数を増やして打てるようになった。 ・トランペットの高い音が出なくても無理と思ったけど、くり返し練習していたら、だんだんいい音が出てきた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の生活を振り返り、これからがんばることへの意欲を高めたい。
10分	<ul style="list-style-type: none"> ・どうして、そういうことができたのでしょうか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の目標があったから、その目標を達成させたかった。 ・努力すれば、もっとうまくなれると思った。 ・がんばれば、結果もついてくると思った。 	
終末	5 目標をもってがんばっている児童の作文を聞く。	<ul style="list-style-type: none"> ・楽器をうまく吹けるようになるために、毎日一生懸命練習しています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・バンドの練習をがんばっている児童の作文を紹介し、クラスの中でも、がんばっている友達がいることを知らせ、意欲を高めたい。
5分	6 学習のふり返りをする。		

(3) 板書画

キャプテン

うわさになった谷口くん

困った
自分は補欠だったのに
どうしよう

お父さんとの特訓

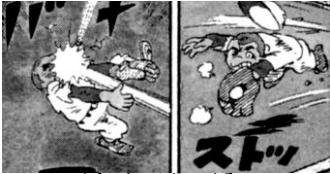


うしろ



ぞ
うまくならない
だ

ノックにくらいつく谷口くん



体が動いてしまう
なかとれない
るもんか
くなりた
をやめたくない



希望をすてずに、がんばってよかった
くしけないで続けてきてよかった
練習を続けて、もっとうまくなりた
みんなの期待にこたえたい
新たな目標に向かってがんばろう

6 資料分析

資料名 キャプテン
(出典：文溪堂 5年生の道徳)

[ねらい] 目標を達成するために、困難にくじけることなく、希望をもって粘り強くやり通そうとする態度を養う。

場面	野球部に入部する谷口君	父と練習する谷口君	キャプテンのノックを受ける谷口君	キャプテンを引き受ける谷口君
主人公の状況	<ul style="list-style-type: none"> ・名門中学から転校してくる。 ・好きな野球がしたい。 ・みんなに誤解される。 	<ul style="list-style-type: none"> ・お父さんに相談する。 ・練習を始める ・なかなかうまくならない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・本当のことを話そうとする。 ・キャプテンのノックを受ける。 	<ul style="list-style-type: none"> ・新オーダーが発表される。 ・4番、サード、キャプテンと言われる。 ・みんなにお願いされて引き受ける。
主人公の心の動き				
児童の反応	<ul style="list-style-type: none"> ・こまった。 ・自分は補欠だったのに。 ・どうしよう 	<ul style="list-style-type: none"> ・がんばるぞ ・なかなかうまくならない ・つらい ・もうだめだ 	<ul style="list-style-type: none"> ・体が動いてしまう。 ・なかなかとれない。 ・負けるもんか。 ・うまくなりたい ・野球をやめたくない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・希望をすてずがんばってよかった。 ・くじけないで続けてきてよかった。 ・練習を続けてもとうまくなりたい。 ・みんなの期待にこたえたい。 ・新たな目標に向かってがんばろう。
発問	自分のことがうわさになってしまった谷口君は、どんな気持ちだっただろう。	お父さんと秘密の特訓をしているとき、谷口君はどんな気持ちだっただろう。	谷口くんが、キャプテンのノックに食らいついていったのはどうしてだろう。	キャプテンを引き受けてくれるよう、みんなから言われた谷口君は、どんな気持ちになっただろう。